



学校だより **本荘** Smile

2024

令和6年度 第43号
令和7年1月10日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

明けましておめでとうございます。3学期の始業式で話したこと。



明けましておめでとうございます。今日から新学期です。令和7年がスタートしました。こどもたちは、みんな元気な表情で大変うれしく思いました。令和7年は、本荘小学校の創立150周年の年になります。今年の夏から秋にかけてはいろいろな関連行事が計画されておりますので、保護者の皆様のさらなる、ご理解ご協力をお願いしたいところです。その分、新学期も職員一同、気を引き締めて、こどもたちとともに教育活動に邁進していこうと考えます。よろしくお願い致します。

3学期の始業式では、自分自身についてお話ししました。熊本市出身の書道家、武田双雲さんの言葉から、自分が思う自分と他人から見た自分は違うこと、しかし、そのことが新しい自分の発見につながるということを話しています。

また、令和7年は、本荘創立150周年記念の年であることも話しています。そのために、各学年のこどもたちに何をなすべきかを伝えています。そのくだりを紹介します。

「6年生は、あと3カ月で後輩たちを150年にふさわしい本荘っ子に育ててほしいものです。下級生のみんなは、4月からは学年が一つ上がって、それぞれが主役となります。しっかりとがんばってほしいものです。まずは5年生が取り組んでいる花時計の工事が1月から始まります。今年の秋には、記念式典や記念講演会、記念イベントが計画されています。あと二つ?があります。この?はあなたたちがやらなければならないものです。その?とは、一つは本荘かるたを作ります。つくるのは君たちです。縦割り班をつかってその昔、先輩たちがつくった「本荘かるた」をつくり直してほしいのです。二つ目は、ハッピーちゃんに続く、新しいキャラクターを決めるのです。それも決めるのは君たちです! あ、その前にキャラクターを考えてくださいね。」(詳細は裏面「虫眼鏡」に掲載)

150周年は、こどもたちも主体的に参加して、みんなで作ってあげる記念式典にしていきたいと考えているところです。あっという間に令和6年度は「行って、逃げて、去る」でしょうから、次の春のことまでこどもたちに伝えた校長先生でした。本年もよろしくお願い致します。(校長) 裏面へ

校長先生の虫眼鏡 3学期始業式「新しい自分の発見」

令和6年度 3学期始業式

おはようございます。今日は、明るい挨拶と笑顔で、家を出ることができましたか？冬休みの間、校長先生が言ったように、伝統と文化を大切に、家の手伝いや他の人のためになることはできましたか？ついに3学期が始まりました。今日の校長先生のお話は、自分に関することです。今年の初日の出です。今年は寒かったけど、お天気がよかったのでとてもよい写真を撮ることができました。校長先生は、よく写真を撮りますが、実際に自分の目で見た時と出来上がった写真のイメージが違う時があります。特に、自分の顔ってそう思いませんか。鏡に映っている自分の顔と人から撮ってもらった写真の顔が全然違ってあるんですよ。つまり、自分で見ている自分と他人から見られている自分は違うってことなのです。

熊本市出身の有名な書道家に武田双雲さんという方がいます。武田さんは、こんなことを言っているのですよ。

「心理学でよく出てくる話ですが、「自我」にも種類があるということ。例えば、『自分が思う自分』『他人にこう思われていると予想する自分』。この二つの「自我」がすくすくしている場合があります。僕の場合、例えばテレビで、短い言葉で紹介されます。どう紹介されるかと言うと、「新しいジャンルを確立した」とか「パフォーマンス書道で数々のコラボレーションをしている」、「書道界の革命児」など様々です。しかし、新しいジャンルを切り開くつもりもないし、革命を起こしたつもりも起こすつもりもありません。普通に来たご縁をその時その時、自分らしくやってただけです。」と威張らずに話をされています。そして、「しかし、このズレから逃れることはできません。『ズレたおかげで、新しい自分を発見できた。』というくらい、新しい自分を発見する気持ちを持ってほしいものです。」と語っています。

よく人生は、自分探しの旅といいますが、自分らしさを大事にすることとともに、新しい自分の一面を発見することも大事なことです。そのためには、人の話をよく聞くことが大事です。時には耳の痛いことや注意があるかもしれませんが、でも、話を聞いて自分自身をアップデートしていくことが大切なのです。人の話を聞かないで、「自分らしく」と「自分勝手」を勘違いしてはいけません。「みんなちがってみんないい」なのですが、「いけないことはなんとしてもいけない!!」のです。鏡に映る自分は、たぶん自分の最高の顔です。しかし時には、心の窓を大きく開けて新しい自分を発見していくことも大事なことです。最高の自分と新しい自分の両方を大切にしていきましょう。

令和7年は、本荘小ができてから150周年という記念の年になります。今年の夏から秋にかけてはいろいろなことが計画されているようです。6年生は、あと3カ月で後輩たちを150年にふさわしい本荘っ子に育ててほしいものです。下級生のみんなは、4月からは学年が一つ上がって、それぞれが主役となります。しっかりとがんばってほしいものです。

まずは5年生が取り組んでいる花時計の工事が1月から始まります。今年の秋には、記念式典や記念講演会、記念イベントが計画されています。あと二つ？(はてな)があります。この？はあなたたちがやらなければならないものです。その？とは、一つは本荘かるたを作ります。つくるのは君たちです。縦割り班をつかってその昔、先輩たちがつくった「本荘かるた」をつくり直してほしいのです。二つ目は、ハッピーちゃんに続く、新しいキャラクターを決めるのです。それも決めるのは君たちです！あ、その前にキャラクターを考えてくださいね。本荘かるたは、値段をつけてみんなが買えるものにしたいと思っています。新キャラクターは、ハッピーちゃんと一緒に未来の本荘小を支えてくれるキャラを募集して、君たちの投票で150周年記念式典の日に発表したいと思っています。みんなの手で150周年を祝い盛り上げていましょう。

最後に各学年のみんなへの宿題です。6年生の皆さんは4月から中学生になります。小学校を卒業して、中学校という新しい環境の中で、様々な新しい出会いがあり、自分自身の人生を一步前に進めることとなります。学習のまとめとして、国語や算数などの各教科の学力を確実に身に付け「あいさつ、礼儀、言葉遣い」などにもさらに磨きをかけ、中学校にいても大きく成長してほしいと思います。5年生は6年生からバトンを引き継ぎ、最高学年として学校のリーダーとなるのですよ。150周年の本荘小学校の中心として活躍することとなります。この3学期には、6年生を送る側となります。今日から、最高学年になったつもりで、努力をしてほしいです。4年生は、いよいよ高学年の仲間入りです。今までのように、上級生を頼ってはられません。少し前までは、二分の一成人式もあっていました。ですから、これまでの自分自身を振り返り、「自分の考えをもち、仲間と協力して行動する力」をつけてください。5年生になったら、集団宿泊もありますよ。3年生は、4年生となり高学年の仲間入りです。委員会活動やクラブ活動、6時間授業の毎日。責任も重くなってきますよ。2年生は、3年生となり、勉強では生活科が終わり、新しく理科と社会が登場します。外国語活動も勉強するようになります。1年生は4月からは1年生が入学してきます。これからは新しい1年生のお手本になるような学校生活を願います。皆さん一人一人が次の学年への希望や目標をもち、それに向かって今日からの3学期を大切に過ごしてください。そして、3学期が終わった時に、新しいすてきな自分と出会えるように、今から努力を始めてください。

では、3学期のスタートも「思いやりの心で笑顔の本荘小」にしましょう。